

新礦床の發見及び開発は現在もなほその數を増しつつあり、新規企業の計畫も續出しつつある。まことに喜ぶべき傾向ではあるが、他面、本邦膨潤土採掘生産事業は、次の新たなる發足の時期に當面しつつあると同時に、一應企業の整理を要すべき時期に直面しつつあるかの如くにも觀測せられるのである。即ち本邦膨潤土企業の本質及び性格に就て、再検討を要すべき時期に到達したかの如く考へられるのである。

## 著者略歴

神奈川縣の人、明治36年生まる。  
東京高等工業學校の出身にして、専門は珪酸鹽工學である。  
現に長岡工業專門學校教授。  
著書に『珪酸鹽類工業概論』・『無機容量分析の基礎』等あり。  
また筆名宗吉彦を以て隨筆多數あり。

昭和21年9月20日 初版印刷

昭和21年9月28日 初版發行



膨潤土  
定價 25.00

著者 内田宗義

發行者 福田良太郎  
東京都京橋區横町三ノ三印刷所 大日本印刷株式會社  
東京都牛込區市谷加賀町一ノ十二

印刷者 鈴木菊藏

發行所 東京都京橋區横町三ノ三 株式會社 北隆館

電話京橋(56)7246, 7247番  
振替貯金口座東京七五〇

配給元 東京都神田區淡路町二ノ九 日本出版配給統制株式會社



終